

もりのにぎわい通信

2012年2月26日 定例活動報告

日時：2012年2月26日（日）9：00～16：15

場所：小山町 観音地

天候：曇 気温 5～8℃ 湿度 50% 風向 西 風速 2m

参加者：参加者 28人：子供 7人、大人 21人（小山町・土地改良区 7人）

■ 活動

9：00 U字溝の蓋（コンクリート製）取り付け
除草作業開始

9：30 横田先生と打合せ、作業準備
階段作り（ツリーハウス脇から下の道に下りる階段）
日本建装㈱長谷部様 苗木の植え替え作業

10：30 休憩
作業再開
けんちん汁の準備

12：00 昼食（けんちん汁）

13：00 階段作り仕上げ

14：00 バードコール
30 バームクーヘン作り

16：00 後片付け

16：15 解散

■ 活動報告

今月の定例会は、雨で一日延びて26日（日）となりました。寒さが少し和らいで一歩ずつ春に近づいてきましたが、どんよりとした寒い一日でした。

9時過ぎに到着すると、既に小高さんと萱野さんでU字溝の蓋（コンクリート製）の取り付けを終えていました。2008年6月、観音地入り口の柵と付替え道（現在使用）のU字溝のグレーチング（大小27枚）が盗難に遭い、その後、車が落ちるといけないと応急的に小高さんが丸太で塞いでくれました。しかし、一部が腐ってきたためコンクリート製の蓋を土地改良区で購入。これで、安心して車を止められます。

地元の皆さんは、池の東側の斜面や小山町に下りる坂道周辺の除草作業を開始。

9時半に横田先生と岡田さんが到着。早速、参加者と一緒に階段作りの準備に取り掛かりました。また、日本建装㈱長谷部様（他3名）には、苗木の植え替え作業をお願いしました。

★階段作り

下の道から簡単にツリーハウスへ行くことができる斜めに走る階段を午前中から取り組みました。まず、おおよその段数を決めた後、スコップで土を掘り起こし、踏面を作ります。その奥に次の段、蹴上げを作るための間伐材の丸太を二本重ね、前面に杭を二本打ち込みます。杭は角材を800mmに切り、片方をナタで尖らせませす。土はとても柔らかいので杭は600mm程度、大きな木槌で地中に打ち込まなければなりません。木槌に慣れていないと、体と木槌がばらばらで中々芯をとらえることが出来ません。横田先生の打ち込みは木槌と体の芯がきちんと通り力が加わり、一振りで一気に杭が地中に沈みこんでいきました。打ち込めたらまた新たな踏面を作っていきます。この工程を繰り返し、段を増やしていき、段が出来上がると階段側面のラインに垂木を沿わせ微調整を加えた後、最後にカスガイで固定して完成です。次は側面に既存の木で手すりをつけてもいいかもしれません。

(記録：星野文紀)

★苗木の植え替え

日本建装(株)長谷部様には、2年前のグリーンウェイブ植樹祭でご協力をいただきました。今日植え替える木は、2008年3月8日(G20植樹祭)で植樹した県寄贈のシラカシ3本です。約4年経って幹も太くなり、しっかりと張った根をスコップで掘り起こしトラックに積んでツリーハウスの南側の高い場所に植え替えてもらいます。植え替えたスタシイは、支柱に支えられて見るからにプロの植え方です。この場所から大きく根を張って、子どもが木登りできる日が楽しみです。でも、木登りする子は、次の世代の子ども達でしょうか？

休憩を挟んで作業を再開。お昼のけんちん汁の仕度に取り掛かりました。先日収穫した、しいたけの入った具沢山のけんちん汁を参加者全員で食べました。午後からは、階段作りの仕上げとバードコール作り、そして、初めての野外バームクーヘンに挑戦します。期待と不安が募ります。

★バードコール

乾燥した枝に電動ドリルで穴を開けてネジ切り(タップ)で空けた後、丸管ボルトで締めていきます。丸管ボルトを締めたり緩めたりすると小鳥の鳴き声になるのに興味津々の参加者。まるで「ツピー、ツツピー、ツーピー」と鳴くシジュウカラのようです。岡田さんから春の繁殖期には、バードコールはしない方がいいですよ。と言われました。それは、音につられて鳥が迷って結婚相手を見つけられなくなるからだそうです。

★バームクーヘン

バーベキューコンロに炭をおこし材料がようやく揃ったところで、青竹に生地を垂らします。まず、最初に横田先生が実演。要領が分かったところでメンバーが交代で焼くことに。青竹を両端で持つ人が意気を合わせてゆっくり火に掛け回します。バターが溶け出し生地がポタポタと……。今度は、高速回転で回します。話には聞いていましたが、実際にやってみると成る程、なるほど。予想以上に腕にくるものです。普段使っていない腕の筋肉がピクピクしてきました。40人分のトロトロの生地が全部バームクーヘンになって、最後は、子ども達で焼き上げました。大きなバームクーヘンは、焼き色といい見た目も本格的です。青竹から包丁で切り分けられている間もワクワクした気持ちでした。回りが香ばしく内側がふんわりして温かいバームクーヘンは、生まれてはじめて食べました。生

地を垂らして2回、3回と回して下さったお兄さん、お父様方大変お疲れ様でした。横田先生と岡田さんが炭の起こし方からバームクーヘンの生地作りまで、参加者と一緒にやって下さったお蔭です。本当に有難うございました。また、とびっきり美味しいバームクーヘンが食べたくなったらやりましょうね。

(記録：星野静枝)

■ 森もりあそび隊

「カエルのたまごー!!」森へ着くなりプラの飼育ケースを手に急ぐ子供隊員。ケースの中には「ニホンアカガエル」の卵が入っている。何をしでかすか分からない年頃だけに、大人は内心ドキドキするが、そこは森もりあそび隊の子供たち。命の尊さや自然のルールをちゃんとわきまえています。果たして、卵たちはビオトープの家へ無事に返されたのでした(汗)

本日の森もりあそび隊のメニューは、環境アドバイザーの横田耕明先生の指導の元「アウトドアバームクーヘン」と「バードコール」作り。バードコールを作ったら、子供たちの興味は”炎”へ。枯れ草をどンドン、ドラム缶のコンロに放り込んで行く。炭の上でメラメラ燃えるだけで、手伝ってるんだか何だか... (笑) その興味も長くは続かず、どろんこ遊びやツリーハウスのブランコへと移って行く。「手伝わない人は、バームクーヘン無しだぞ〜!」慌てて、バームクーヘンの竹を高速回転!! その作業も長くは続かず...。「さあ!出来た!」バームクーヘンを竹から切り離していく端から手を伸ばして食べようとする子供たち。「オレ、これ!」「ワタシ、ここが良い!」あれ?さっきまで居なかったのに、いつ来たの??みんな、大満足でした。

後から横田先生にお聞きしたのですが、予め竹の節を抜いておく理由は、節に穴をあけておかないと爆発するんだそうです!爆竹って、こういう事なんですね〜。

大人も、子供も毎回勉強になります。横田先生、岡田さん今回もありがとうございました。

(記録：石阪 淳)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、3月24日(土)(雨天3月25日(日))です。刈払機の技術指導と道具の手入れの仕方を地元の方から教えてもらいます。森もりあそび隊の活動では、何でもスモーク(煙製体験)や生き物調べ、そして、ティピやツリーハウスで遊ぶ予定です。



集合写真



刈払機による草刈作業大きなススキに悪戦苦闘



階段作り



休憩



日本建装さんによる苗木の植替え



腕力と経験がものを言う階段作り



横田先生指導によるバードコール作り





子どもに交り大人も参加



子ども達は焚き火に夢中



大人はバームクーヘン作りに夢中



バームクーヘン生地作りー女の子の出番です！



普段使っていない筋肉を使うので意外と腕にきて大変



最後によやくこども達登場



なかなかの出来ばえでした。おいしそう！



東京の有名パティシエのレシピを使用。子供達もその味に大満足



ツリーハウス前に植え替えた苗木



りっぱな階段が完成